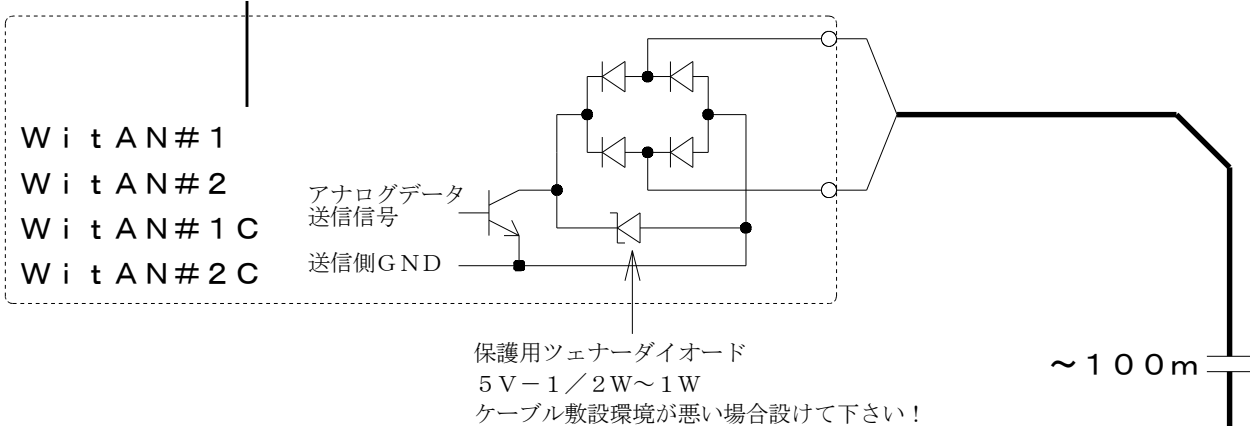


WitANと受信側有線接続の参考資料

2008/03/23 2009/11/21

DC5. 12V供給、または送信側で5.12V安定化



※雷対策ではありません!
※回線にコンデンサーは接続出来ません!

IDが一致する赤外線送信の
アナログデータも受信します。
並列動作可能、データ衝突時
無視し前データ保持。

※屋外の敷設は危険です!
★落雷★

受信側 I/F回路

※R=プルアップ抵抗値は並列接続する
受信側の数量で変化します。
合成抵抗を求めて下さい。

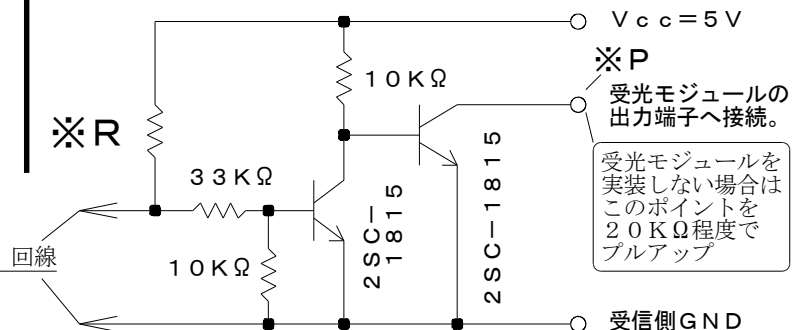
アナログ電話延長ケーブルで~100m
接続した場合の※Rは470Ωを
推奨しております。
受信側を2枚並列接続した場合、
それぞれ1KΩのプルアップ抵抗に
して下さい。



※受信側に接続しP点の波形が
良好であることを確認。



受信側は極性を
揃えて並列接続



- ①使用するケーブルの種類や長さに合わせて※Rを決め、
通信動作確認を十分行って下さい。
- ②屋外敷設の場合は落雷対策を完全に行って下さい!
- ③ケーブルの種類、敷設の場所や方法に合ったノイズ、サージ、
静電気等への対策を行って下さい!
- ④並列接続運転でいずれかの電源(5V)供給を停止した場合、
予期しない誤動作が発生します。

IRrAN#1
IRrAN#2
IRrANSi
IRrANSB
IRrANLV
IRrANd
IRrANv
IRrANv10
IRrANv100
IRrANLCD
rLCDtv
rLCDtt